

テーマ

「アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の啓発・実践・評価・研究」

講演者

Karen Detering先生

(日本語逐次通訳あります)

日時
場所

平成30年6月17日(日) 14:20~16:20 (受付14時~)

TKP名古屋ルーセントタワー 16階 カンファレンスルーム J+K

名古屋市西区牛島町6-1 ルーセントタワー16F

超高齢・多死社会のわが国において本年3月に厚生労働省の「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」が改訂され、病院と地域包括ケアシステムにおける在宅医療・介護現場において、アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の重要性が提唱されるようになりました。International Society of Advance Care Planning and End of Life Care (ACPEL)の発足メンバーで、オーストラリアでのACP推進のリーダーのKaren Detering先生から、ACPを普及・啓発の事始めから、将来の展望までをお話し頂きます。

プログラム

14:20 開会の辞 講師紹介 国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長 三浦久幸氏
14:30~16:20 Karen先生講演 (逐次通訳あります)

ACPについて

患者の意思決定能力の低下に備えるために、医療・ケア従事者が十分な情報提供の上で、患者の意思決定を支援し、共有する、患者・家族との双方向の議論(コミュニケーション)とその過程がACPである。患者の医療・ケアに関する価値観や意向を確認し、胃ろうや人工呼吸器などの医療の選択だけではなく、「心地よさ優先」あるいは「延命至上」といった医療・ケア全体の目標を明確にする。同時に意思決定能力が低下した時に患者に代わって意思決定する者を指名する。

参加費無料・申込不要 (予定190名)

※人数を超える場合には、お席のご用意は致しかねますのでご了承下さい。

国立研究開発法人

国立長寿医療研究センター

在宅連携医療部

Tel:0562-46-2311 (内線:6205)

Fax:0562-46-5268

Email : z_renkei@ncgg.go.jp

講師紹介

【現職】

International Society of Advance Care Planning and End of Life Care (ACPEL)理事

ビクトリア州保健省ACP諮問委員

オーストラリア退役軍人省 人生の最終段階のケア諮問委員

オースチン病院呼吸器内科医師

【学歴】

Monash大学医学部卒 (1988年)

メルボルン大学臨床倫理学位取得 (2003年)

(ロータリークラブ青少年交換プログラムで訪日1982年)

【略歴】

呼吸器内科医のDetering先生はオーストラリアメルボルンのオースチン病院で、病状が落ち着いた患者にACPを行った群と対照群を比較し、ACP群に本人の医療・ケアの意向が叶ったケースが多く、遺族のうつ病の発症率も低いという、世界初のACPのランダム化比較試験

(BMJ2010;340:c13)を報告された、ACPの啓発・実践・評価・研究の第一人者です。オーストラリアでACPの機会を提供し、現在の、そして将来の医療・ケアについての価値観や意向を本人・家族と医療・ケア従事者が共有して医療・ケアが受けられるような枠組みの構築に貢献されています。

【著書】

“Advance Care Planning in End of Life Care, “2nd ed.” Oxford press 2017

“Advance care planning and advance directives” in “UpToDate” 2013 など多数。

